

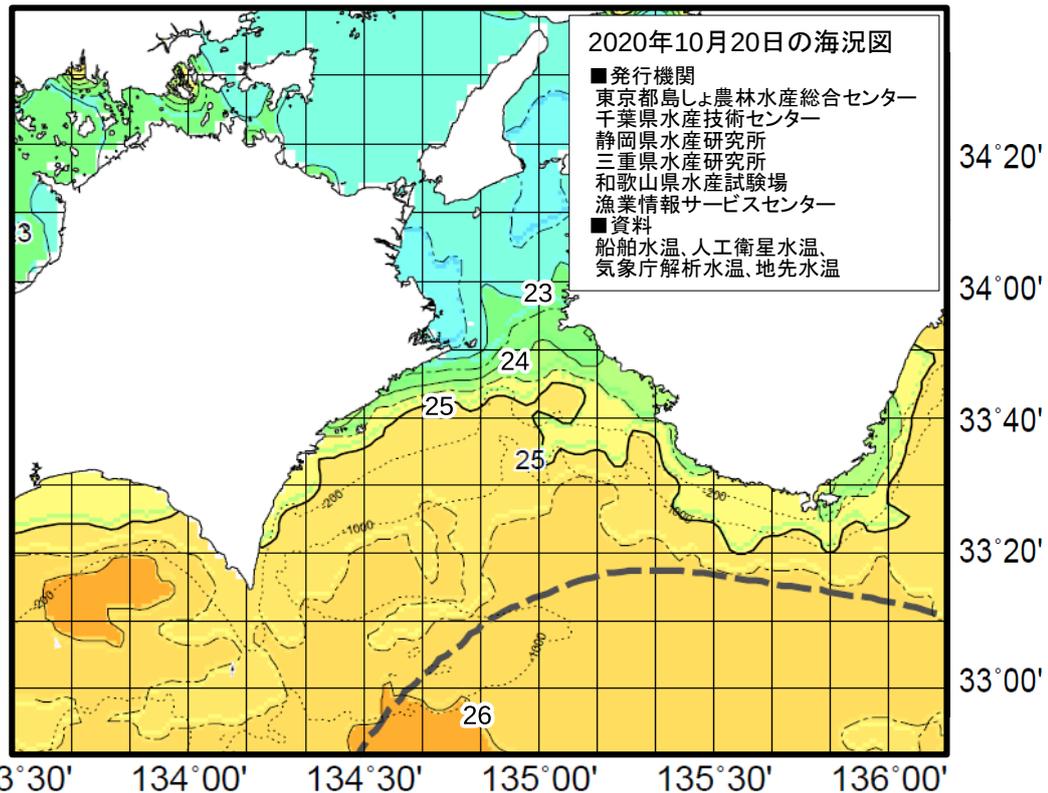
海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮は、九州東岸から室戸岬沖にかけて「著しく離岸」して流れ、紀伊水道外域の沖合で北上、潮岬沖では「接岸」して流れている。黒潮の表面水温は25℃～26℃台。

徳島周辺海域の水温は、播磨灘と紀伊水道でおおむね22℃台、海部沿岸で23℃～24℃台、海部下灘沖合で25℃台となっている。

※海況図中の---は黒潮北縁。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖	接岸: ~25NM	やや離岸: 25~45NM	離岸: 45~65NM	著しく離岸: 65NM~
潮岬沖	接岸: ~26NM	やや離岸: 26~56NM	離岸: 56~86NM	著しく離岸: 86NM~

(いずれも正南方向)

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

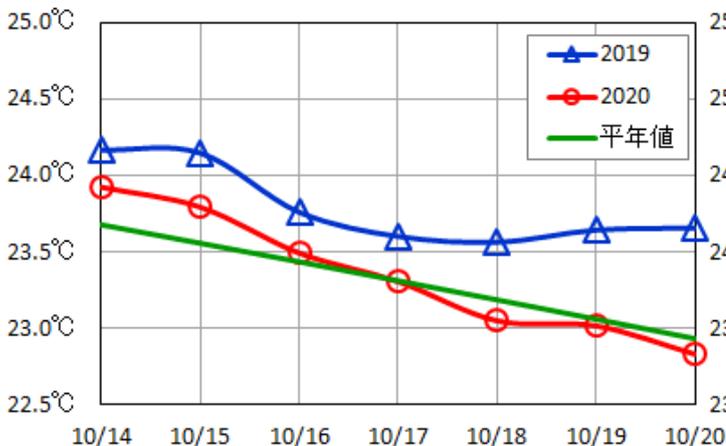
2. 地先水温(2020年10月14日~10月20日)

地先水温が下がっていく時期となっている。

鳴門地区の水温は「平年並み」で、23.9℃から22.8℃に低下した。

日和佐地区の水温は「平年並み」で、24.1℃から23.2℃に低下した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(10月21日~10月27日)

黒潮は、室戸岬沖では「著しく離岸」、潮岬沖では「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区とも「平年並み」で推移する見込み。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが増えて12.5ト水揚げされた。

延縄では、サワラが増えて2kg級主体に4.1ト、タチウオが減って特大主体に0.8ト、えそ類が大きく増えて0.2ト水揚げされた。

建網では、カワハギが大きく増えて大主体に0.8ト、タカノハダイが増えて0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えてつばす級主体に1ト、マアジが増えて0.7ト、ヘダイが増えて0.5ト、ウスバハギが増えて0.4ト、マダイが大きく増えて0.3ト、カンパチが増えて大主体に0.3ト、マルアジが増えて小主体に0.3ト、マサバが大きく増えて小小主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、タチウオが大きく減って0.8ト、ハモが大きく増えて中主体に0.7ト、えそ類が大きく増えて0.4ト、イボダイが大きく増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、カツオが増えて7.2ト、キハダが大きく増えて4.1ト、タチウオが0.5ト、ツムブリが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、マルソウダが大きく増えて0.5ト、マルアジが大きく増えて小小主体に0.4ト、マアジが大きく増えて小小主体に0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	50	シラス	12,500	250		↗
	延縄	61	サワラ	4,053	66	2kg級主体	↗
		28	タチウオ	755	27	特大主体	↘
		11	えそ類	224	20		↗↗
	建網	86	カワハギ	838	10	大主体	↗↗
		58	タカノハダイ	220	4		↗
	小型定置網	17	ブリ	1,047	62	つばす級主体	↗↗
		19	マアジ	745	39		↗
		17	ヘダイ	463	27		↗
		19	ウスバハギ	431	23		↗
		18	マダイ	306	17		↗↗
		18	カンパチ	301	17	大主体	↗
		18	マルアジ	269	15	小主体	↗
		11	マサバ	247	22	小小主体	↗↗
	底びき網	12	タチウオ	839	70		↘↘
		22	ハモ	733	33	中主体	↗↗
19		えそ類	402	21		↗↗	
11		イボダイ	261	24	大主体	↗↗	
海部沿岸	釣り	2	カツオ	7,240	3,620		↗
		2	キハダ	4,089	2,045		↗↗
		22	タチウオ	496	23		→
		2	ツムブリ	323	161		↗↗
	小型定置網	16	マルソウダ	472	30		↗↗
		8	マルアジ	382	48	小小主体	↗↗
		17	マアジ	297	17	小小主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘